

一級河川木曾川水系
木曾川上流圏域河川整備計画

平成 13 年 1 月
(令和 8 年 3 月変更)

岐阜県

目 次

1. 木曾川上流圏域の概要と課題	1
1.1 圏域の概要	1
1.2 木曾川上流圏域の現状と課題	4
1.3 河川整備に関する住民意見	17
2. 河川整備の目標に関する事項	20
2.1 計画対象区間及び計画対象期間	20
2.2 河川整備計画の目標	21
3. 河川整備の実施に関する事項	23
3.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所	23
3.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	27
4. 計画の改定に関する事項	31

1. 木曾川上流圏域の概要と課題

1.1 圏域の概要

本整備計画では、今渡ダムより上流の木曾川流域内の一級河川指定区間（岐阜県内）を木曾川上流圏域と称す。

木曾川はその源を長野県木曾郡木祖村の鉢盛山（標高 2,447m）に発し、岐阜県、愛知県を流下し、伊勢湾に注ぐ幹川延長 229km 流域面積 5,275km² の一級河川である。流域内人口は木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）で約 190 万人であり、山間地が 9 割以上を占める流域内にあって下流の平地部に人口、資産等が集中している。

圏域は、平成 16～17 年の市町村合併により、長野県山口村が中津川市に編入されるなど、4 市 7 町 4 村が 5 市 2 町に統合され、その面積は、岐阜県の中津川市、恵那市、瑞浪市、加茂郡八百津町、可児郡御嵩町、可児市、美濃加茂市にわたる約 940km² となる。図 1.1-1 に木曾川上流圏域位置図を示す。

圏域内の人口は約 29 万人であり、産業分類別就業者人口は第 3 次産業就業人口が約 60%を占め、第 2 次産業就業人口が約 39%である。

沿川市町の土地利用状況として、圏域面積の大半を占める恵那市、中津川市、八百津町の土地利用状況は、森林の占める面積の割合が約 80%と最も大きくなっており、次いで農用地が約 6%となっている。一方、住宅の占める割合は 5%に至っていない。



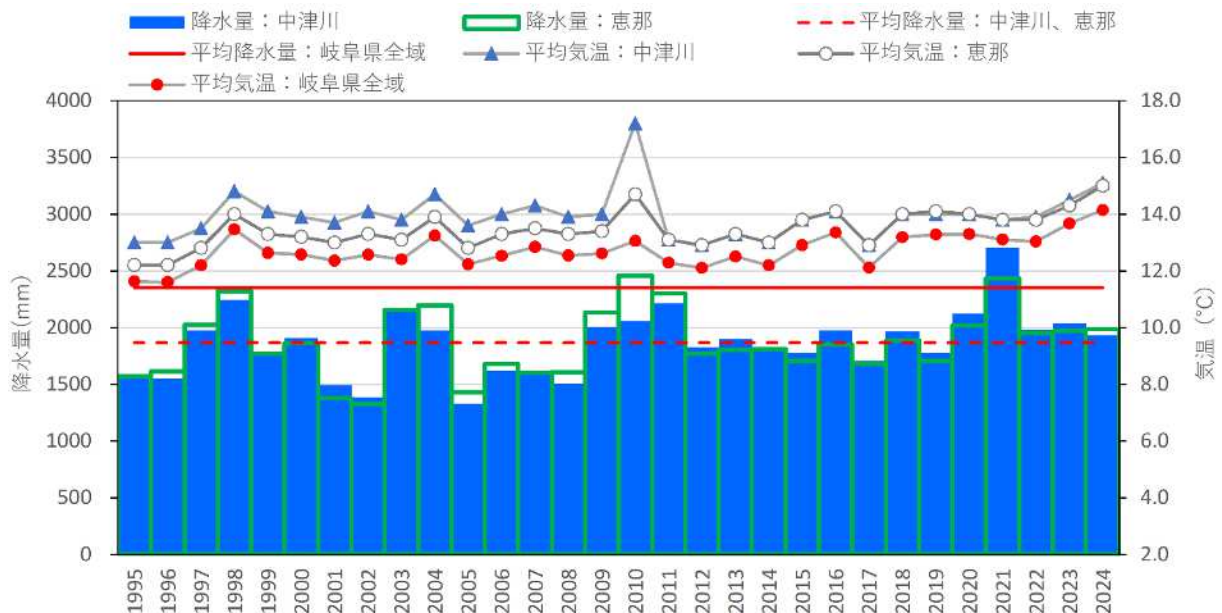
図 1.1-1 木曾川上流圏域位置図

木曾川の上流部は北アルプス、中央アルプスの 3,000m級の高山を水源とするため、上流部の地形は急峻で壮年期の景観を呈している。したがって、流入する各河川はいずれも急峻となり、浸食力の盛んなことから災害の原因となっている。中津川、落合川付近の上流は中央アルプスの最南端にあり、谷は全山を刻んで浸食が発達している。この付近より南方の山地は次第に低くなり丘陵となっている。

圏域の地質は木曾川南北で分けられ、北部は石英閃緑岩あるいは花崗岩が中心となり、木曾川以南では第3紀層、洪積層さらに古生層が群状に存在している。

圏域が属する中濃、東濃地方の気候区分は中央日本山地性気候に属し、中津川気象台の年平均気温は 13.8℃（1995年～2024年の30年間の平均値）、恵那気象台の年平均気温は 13.4℃（1995年～2024年の30年間の平均値）と岐阜県全体の平均気温^{※1}に比べて高い。夏季は涼しく比較的過ごしやすい気候であり、冬季には山地から吹き付ける風が冷たく、寒く感じるものの、飛騨地方に比べて積雪は少なく、雨も少ない気候である。年間の総降水量は年によって変動がやや激しいものの、中津川気象台の年平均降水量は 1,864mm（1995～2024の30年間の平均値）、恵那気象台の年平均降水量は 1,866mm（1995～2024の30年間の平均値）であり、岐阜県全体の年平均降水量 2,351mm（1995～2024の30年間の平均値）^{※1}に比べ、比較的降水量の少ない地域といえる。

図 1.1-2 に 1995年～2024年の中津川気象台、恵那気象台の年間降水量、年平均気温を示す。



【出典：気象庁 HP】

図 1.1-2 地域気象観測所別降水量・年平均気温

※1：岐阜県全体の平均気温及び年平均降水量は、気象庁所管の 2024 年末時点で気象観測を行っている観測所の観測データをもとに算定した結果である。

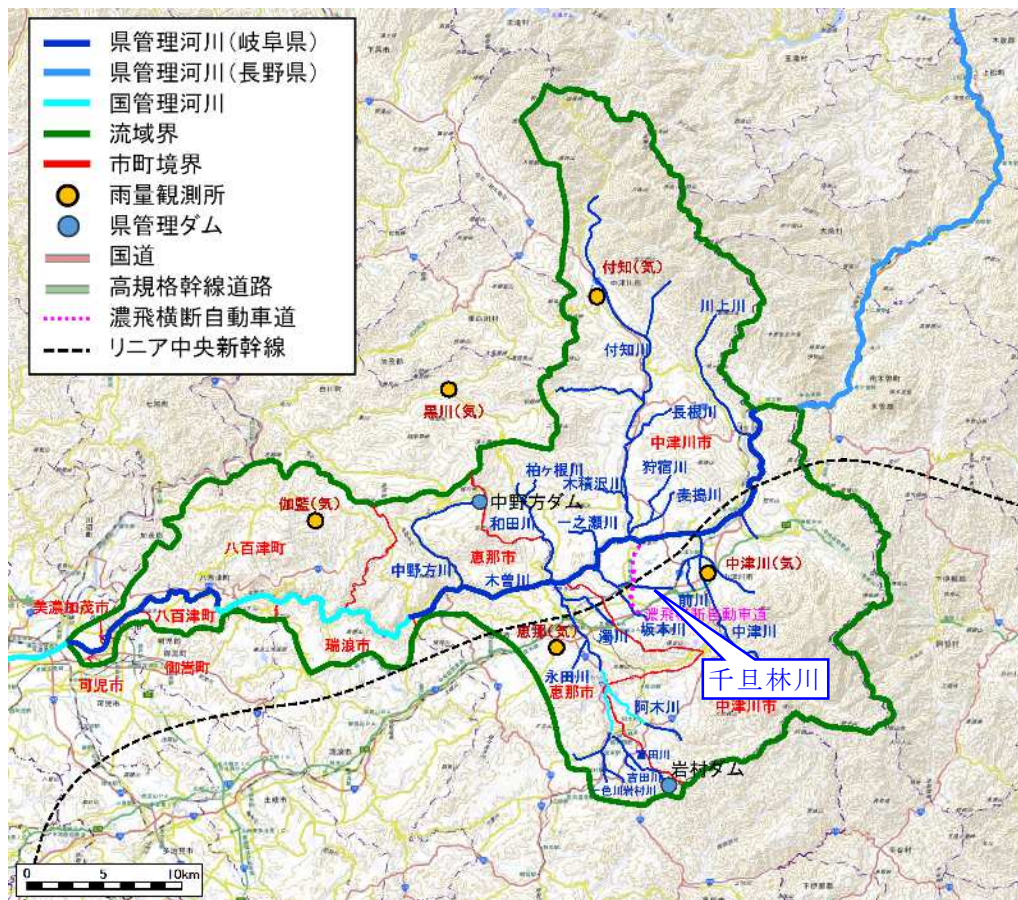
圏域内の木曾川本川には多くのダム湖が存在し、それらのダム湖が蘇水峡、恵那峡などの景勝地を生み出している。木曾谷は古くから木曾ヒノキの運搬路としての役割を果たし、沿川は中山道などゆかりの史跡に恵まれている。

中津川市の千旦林川沿川には、リニア中央新幹線の開業に向け、中間駅であるリニア岐阜県駅（仮称）の建設が進められており、これに併せて、次のように、岐阜県の東の玄関口として、それにふさわしいまちづくりの計画に基づいた整備が進められている。

岐阜県では、平成26年3月に「岐阜県リニア中央新幹線活用戦略」を策定し、リニア中央新幹線の開業効果を最大限に波及させるため、岐阜県の地理的優位性や豊富な地域資源などをいかし、リニアを活用した地域づくりの取組を進めている。

中津川市においては、平成25年8月に「中津川市リニアのまちづくりビジョン」を策定、ついで、平成29年10月に「中津川都市計画事業 リニア岐阜県駅周辺土地区画整理事業」を事業決定し、また、千旦林川においても、令和3年3月には、河川管理者との協働で作成した「中津川市かわまちづくり計画」が支援制度に登録されるなど、駅周辺の土地区画整理事業と一体となり、恵那山の眺望を活かした空間を整備し、駅利用者や地域住民が川沿いに集まることでにぎわいが創出されることを目指している。

図1.1-3に、木曾川上流圏域の流域界、河川、雨量観測所、主要道路、リニア中央新幹線等を表示した概要図を示す。



【出典（背景図）：国土地理院】

図 1.1-3 木曾川上流圏域概要図

1.2 木曾川上流圏域の現状と課題

1.2.1 本計画の変更に伴う主な事業

今回の整備計画の変更にあたり、リニア中央新幹線岐阜県駅（仮称）周辺の土地区画整理事業と連携し、当該地域を流れる一級河川千旦林川において、洪水防御機能の強化および親水空間の整備を実施する。

これらは、本計画において最優先で取り組む事業として位置付ける。

1.2.2 治水に関する現状と課題

(1) 過去の主要な洪水の概要

主要な洪水の概要は次のとおりである。

昭和 7 年 8 月洪水

本洪水は 8 月 26 日に中津川市を中心とした局地的な豪雨により発生したものである。四ツ目川、中津川流域では被害が甚大で、死者 2 名、負傷者 24 名、家屋流出 63 戸であった。

昭和 13 年 7 月洪水

本洪水は梅雨末期の活発な前線の活動により、7 月 2 日～5 日にかけてもたらされた記録的な大出水であった。出水規模としては、昭和 13 年からの観測において既往最大で、今渡地点では 7 月 5 日 19 時 10,955 m³/s が観測された。木曾川上流部における被害も甚大であり、多くの支川が氾濫した。

昭和 36 年 6 月洪水

本洪水は 6 月 24 日から 1 週間東海地方を襲い、「昭和 36 年梅雨前線豪雨」と命名された記録的な大雨による出水であった。この大雨により、木曾川は既往最大の昭和 13 年に次ぐ大出水となり、総雨量は 400mm～600mm となった。

昭和 50 年 6 月洪水

本洪水は 6 月 3 日から 7 月 18 日にかけてもたらされた集中豪雨で、河川の氾濫や土石流の発生など、大きな被害をもたらした。中津川市の千旦林川等、圏域内の各河川が氾濫した。

昭和 58 年 9 月洪水

本洪水は 9 月 28 日夕刻から台風 10 号から変わった温帯低気圧による豪雨で、中部地方各地に大きな被害をもたらした。恵那市では観測史上最大の雨量を記録し、恵那市の阿木川、中野方川、濁川、中津川市の千旦林川、坂本川等各河川が氾濫した。

平成元年 9 月洪水

本洪水は台風 22 号により、9 月 17 日から 9 月 22 日にかけて大きな被害をもたらされた。恵那市の濁川など、河川が氾濫し、床上浸水などの建物被害が生じた。

平成 11 年 6 月洪水

本洪水は梅雨前線の活動により、6 月 22 日から 7 月 4 日にかけて大きな被害が発生した。中津川の千旦林川や坂本川などで河川が氾濫し、床上浸水などの浸水被害が生じた。

令和 3 年 8 月洪水

本洪水は 8 月 12 日から 15 日にかけて本州付近に停滞した前線の影響で、岐阜県内各地で 8 月 1 カ月の過去最大値を超える降雨量が記録される大雨となり、恵那市等で農地被害、道路崩壊等が発生した。

(2) 重要水防箇所

令和6年度において、圏域における重要水防箇所は以下のとおりである。

表 1.2-1 重要水防箇所

河川名	左右岸の別	地先名等	延長(m)
木曾川	右	中津川市坂下(川上川との合流点から弥栄橋)	200
中野方川	左右	恵那市中野方町(大日橋から中央橋)	500
千田川	左右	恵那市長島町(木曾川合流点から新田3号橋)	3,200
和田川	左右	中津川市蛭川(鳩吹猿飛橋から下流)	500
和田川	左右	中津川市蛭川(奈良井浄化センター近く)	400
和田川	左	中津川市蛭川中切(辻屋橋から下流)	700
一之瀬川	右	中津川市蛭川一之瀬(一之瀬橋から上流)	200
横町川	左右	恵那市大井町(明智鉄道から下流)	290
永田川	左右	恵那市田邊川合流点から恵那駅裏	300
吉田川	左右	恵那市岩村町(経塚橋から吉田川橋)	300
飯羽間川	左右	恵那市岩村町市場田(市場田橋の上流)	150
付知川	右	中津川市高山字下組(高山大橋から上流)	200
付知川	左右	中津川市下村(長根川合流点から下流)	300
狩宿川	左右	中津川市苗木字井ノ口(恵比寿橋から下流)	400
中津川	右	中津川市かやの木町(新中津川大橋から四ツ目川合流点)	1,100
前川	左右	中津川市駒場字角田(後田川合流点から上流)	450
外洞川	左右	中津川市坂下(外洞橋から下流)	2,300
川上川	右	中津川市川上字上平(河原橋から黄川橋)	700
木曾川	左	中津川市山口字大島	300
木曾川	右	中津川市山口字中河	300
木曾川	左	中津川市山口字八重	640
木曾川	右	中津川市坂下握(乙姫大橋上流)	500
木曾川	左右	中津川市坂下西方寺	500
木曾川	左右	中津川市山口字生	300
木曾川	右	中津川市坂下和合	800
川上川	左右	中津川市坂下(木曾川合流点から上流200m)	200

(3) 治水事業の沿革

上記洪水を機に木曾川上流部の各支川において表 1.2-2 に示す改修が進められた。

表 1.2-2 圏域の主な河川改修

河川名	事業区分	箇所	着手年度	延長
よめ 四ツ目川	災害復旧	中津川市神坂大久保～神坂奥恵下	昭和8年度	2,000m
なかつ 中津川	災害復旧	中津川市中野町～中津川	昭和8年度	4,700m
なかつ 中津川	公共局改	不明	昭和29年度	不明
なかつ 中津川	災害関連	中津川市桃山町～中津川尾鳩	昭和32年度	4,500m
せんだ 千田川	災害関連	恵那市長島町久須見千田	昭和42年度	233m
あぎ 阿木川	災害助成、関連	中津川市阿木	昭和32年度	2,800m
あぎ 阿木川	公共局改	大井町の夕屋溜池	昭和55年度	900m
あぎ 阿木川(ダム)	水資源公団(当時)	恵那市東野	昭和51年度	ダム建設
よこまち 横町川	公共局改	恵那市大井町茶屋町～金沢町	昭和43年度	420m
よこまち 横町川	公共局改	恵那市大井町	昭和51年度	340m
よこまち 横町川	公共局改	恵那市大井町学頭	昭和58年度	660m
よこまち 横町川	単独事業	恵那市大井町学頭	平成3年度	516m
いわむら 岩村川	公共局改	恵那市岩村町飯羽間	昭和56年度	889m
いわむら 岩村川・一色川	災害助成、関連	恵那市岩村町飯羽間	平成元年度	4,745m
つけち 付知川	災害関連	中津川市田瀬	昭和40年度	225m
つけち 付知川	単独事業	中津川市付知町中野	平成5年度	1,000m
ちようね 長根川	災害関連	中津川市福岡	平成元年度	800m
きずみさわ 木積沢川	公共局改	中津川市高山木積沢	昭和58年度	1,800m
かわうえ 川上川	災害関連	中津川市坂下島井田	昭和43年度	2,148m
かわうえ 川上川	公共局改	中津川市坂下島井田	昭和46年度	1,275m
かわうえ 川上川	公共局改	中津川市川上白山	昭和47年度	1,103m
かわうえ 川上川	公共局改	中津川市川上白山	昭和51年度	740m
かわうえ 川上川	単独事業	中津川市坂下	平成5年度	516m
おちあい 落合川	公共局改	中津川市落合	昭和36年度	423m
いちのせ 一之瀬川	公共局改	中津川市蛭川一之瀬区	昭和56年度	630m
うしろだ 後田川	災害関連	中津川市駒場	昭和50年度	721m
しまだ 島田川	災害関連	中津川市神坂中島	昭和50年度	860m
まささわ 牧沢川	災害関連	中津川市神坂塩野	昭和50年度	440m
ながた 永田川	単独事業	恵那市長島町	昭和58年度	1,500m
わだ 和田川	単独事業	中津川市蛭川棚田区	昭和58年度	500m
わだ 和田川	単独事業	中津川市蛭川鳩吹区	平成2年度	494m
まさ 木曾川	単独事業	中津川市坂下握	平成2年度	540m
とみだ 富田川	単独事業	恵那市岩村町富田	平成7年度	1,015m
まえ 前川	単独事業	中津川市駒馬	昭和58年度	1,000m
せんだんばやし 千旦林川	公共局改	中津川市千旦林	昭和63年度	1,080m
さかもと 坂本川	公共小規模	中津川市茄子川	昭和57年度	4,000m
にこり 濁川	公共局改	恵那市大井町岡瀬沢	平成3年度	1,140m
なかのほ 中野方川	公共河川総合開発	恵那市中野方町	平成2年度	ダム建設
よこまち 横町川	単独事業	恵那市大井町	平成12年度	560m
ながた 永田川	単独事業	恵那市長島町中野	平成24年度	300m
まえ 前川	単独事業	中津川市駒馬	平成23年度	2,300m
にこり 濁川	単独事業	恵那市大井町岡瀬沢	平成26年度	700m
せんだんばやし 千旦林川	公共総流防	中津川市千旦林	令和3年度	700m

(4) 治水上の課題

圏域内においては、これまで鋭意治水対策を推進しており、治水安全度は着実に向上している。しかし、依然として近年においても局地的な豪雨等による洪水被害が発生していることから、継続的な安全性の向上が不可欠である。

木曾川上流圏域内の一級河川においては、濁川や坂本川、中野方川など、これまでの計画的な整備により、各河川の目標規模洪水を安全に流下させる能力を概ね確保している。

一方、千旦林川においては、中津川市のかわまちづくり計画と連携した「リニア岐阜県駅（仮称）」周辺の整備が進むなか、依然として20年に一度程度の洪水であっても安全な流下が困難な区間を残している。

こうした状況を踏まえ、本計画においては、特に緊急性が高く、地域のまちづくりと密接に関連する千旦林川を最優先の事業箇所として位置づけ、河道の掘削や築堤、橋梁の架け替え等を重点的に実施し、早期に治水安全度の向上を図る。

1.2.3 利水に関する現状と課題

肥沃な濃尾平野を貫流している木曾川の水利用は、古くから治水事業の進展と共に、農業を中心に発展してきた。それに加え、明治44年に八百津発電所が開設されて以来、順次上流の開発が行われ、発電の面からも注目されるようになった。木曾川の今渡から上流における既得水利としては、岐阜東部上水道用水供給事業として最大2.4 m³/s、愛知用水（工業用水、農業用水、水道用水含む）としての取水量が兼山取水口にて最大30 m³/sとなっている。一方、支川である千旦林川の水利用は農業用水が主体となっている。

1.2.4 河川環境に関する現状と課題

(1) 動植物の生息・生育状況

<植物>

圏域内において特筆すべき植物としては、ハナノキ、シデコブシ、ヒトツバタゴなどがあげられる。ハナノキ、シデコブシは、低山地の湿地に稀に自生する落葉樹で、坂本のハナノキ自生地のように自生地が国の天然記念物に指定されている貴重な植物である。ヒトツバタゴは別名「ナンジャモンジャの木」と呼ばれる珍木で、日本では愛知県、岐阜県の一部地域と長崎県（対馬地方）だけに自生する落葉木である。

木曾川本川の河道内には群落を形成するような植物は見られないが、多くのダム湖が存在し、河岸にはスギ、ヒノキ、アカマツ、コナラなどの植物がみられる。一方、圏域内の支川においては一部を除き掘込河道であり、人家連担区域を中心に河川改修が実施され、護岸工が施工されている。支川の河道内には、ヨシ、ススキ、セイタカアワダチソウなどが河岸、堆積土砂の上に群生している。

<魚類>

河床の状況は玉石及び砂利が多く、滞筋が河道内を蛇行し、州及び瀬や淵が形成されている。河川水辺の国勢調査（令和6年度実施（過去33回））によると、アユ等33種が確認されている。溪流に生息するアマゴ、瀬や淵に生息するオイカワ、カワムツ、アブラハヤ、底生魚のアジメドジョウ、アカザ、カワヨシノボリなどが見られる。

<鳥類>

岐阜県鳥類目録(2016)によると東濃地方では193種の鳥類が確認されている。溪流に生息するカワガラスを始め、オシドリ、ヤマセミ、カワセミ、セグロセキレイなどが見られる。

<哺乳類・爬虫類・両生類>

第5回自然環境保全基礎調査（平成9～10年度実施）及び第6回自然環境保全基礎調査（平成12～15年度実施）によると圏域内において、ニホンザル、タヌキ、ツキノワグマ、カモシカなど哺乳類16種、ニホンイシガメ、ヤマカガシなど爬虫類5種、ヒダサンショウウオ、ヤマアカガエル、カジカガエルなど両生類12種の分布が確認されている。

圏域で確認された貴重種を表1.2-3に示す。

表 1.2-3 (1) 木曾川上流圏域内の貴重種（哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類）

区分	種名	貴重種の選定基準				
		①	②	③	④	⑤
哺乳類	コテングコウモリ					VU
	ホンシュウカヤネズミ					NT
	カモシカ	特天				
鳥類	ヤマドリ					NT
	マガン				NT	
	オシドリ				DD	NT
	トモエガモ				VU	
	アカハジロ				DD	
	カイツブリ					NT
	アカオネツタイチョウ				EN	
	アオバト					DD
	シロハラミズナギドリ				DD	
	ヨシゴイ				NT	VU
	オオヨシゴイ		国内		CR	
	ミゾゴイ				VU	VU
	チュウサギ				NT	
	ヒクイナ				NT	VU
	ヨタカ				NT	NT
	ハリオアマツバメ					DD
	ケリ				DD	
	セイタカシギ				VU	
	タカブシギ				VU	
	タマシギ				VU	NT
	オオセグロカモメ				NT	
	コアシサシ				VU	VU
	ミサゴ				NT	
	ハチクマ				NT	NT
	チュウヒ		国内		EN	
	ツミ					DD
	ハイタカ				NT	NT
	オオタカ				NT	NT
	サシバ				VU	NT
	クマタカ		国内		EN	VU
	オオコノハズク					DD
	コノハズク					VU
	フクロウ					NT
	アオバズク					NT
	アカショウビン					NT
	ヤマセミ					NT
	ブッポウソウ				EN	CR+EN
	ハヤブサ		国内		VU	NT
	サンショウクイ				VU	NT
	サンコウチョウ					NT
	アカモズ		国内		EN	CR+EN
	オオムシクイ				DD	
	エゾムシクイ					NT
	センダイムシクイ					NT
	キバシリ					DD
	トラツグミ					DD
	コサメビタキ					NT
	ホオアカ					NT
	ノジコ				NT	NT
	クロジ					DD
爬虫類	ニホンイシガメ				NT	NT
	クサガメ					DD
	ニホンスッポン				DD	DD
両生類	コガタブチサンショウウオ				VU	VU
	ヒダサンショウウオ				NT	NT
	アカハライモリ				NT	
	ニホンアカガエル					NT
	トノサマガエル				NT	
	ナゴヤダルマガエル				EN	VU
魚類	モリアオガエル					DD
	ハス				VU	
	イトモロコ					NT
	ドジョウ				NT	
	アジメドジョウ				VU	
	ホトケドジョウ				EN	NT
	アカザ				VU	
	サツキマス (アマゴ)				NT	NT
ミナミメダカ				VU		
ドンコ					NT	

表 1.2-3 (2) 木曾川上流圏域内の貴重種（昆虫類、底生動物、植物）

区分	種名	貴重種の選定基準					
		①	②	③	④	⑤	
昆虫類	コオイムシ				NT		
	モートンイトトンボ				NT		
	ムスジイトトンボ					NT	
	グンバイトンボ				NT	NT	
	アオハダトンボ				NT	NT	
	マダラナニワトンボ				EN	CR+EN	
	ヒメハルゼミ					NT	
	ミヤケミズムシ				NT		
	ヒメタイコウチ					VU	
	ヤマトセンブリ				DD		
	ギンイチモンジセセリ				NT	NT	
	オオムラサキ				NT		
	ギフチョウ				VU	NT	
	ツマグロキチョウ				EN	VU	
	モウセンゴケトリバ					DD	
	オナガミズアオ本土亜種				NT		
	カギモンハナオイアツバ				NT		
	ハマダラハルカ				DD		
	ヒトツメアオゴミムシ				NT		
	アイヌハンミョウ				NT		
	クロゲンゴロウ				NT		
	コウベツブゲンゴロウ				NT		
	ルイスツブゲンゴロウ				VU		
	マルヒラタガムシ				NT		
	スジヒラタガムシ				NT		
	コガムシ				DD		
	エゾコガムシ				NT		
	ミユキシジミガムシ				NT		
	アカマダラハナムグリ				DD	NT	
	トサヤドリキバチ				DD		
	ミヤマツヤセイボウ				DD		
	トゲアリ				VU		
	ヤマトアシナガバチ				DD		
	モンズメバチ				DD		
	スギハラクモバチ				DD		
	アオスジクモバチ				DD		
	ヤマトスナハキバチ本土亜種				DD		
	底生動物	ヒラマキミズマイマイ				DD	
		ナガオカモノアラガイ				NT	
		マツカサガイ				NT	VU
グンバイトンボ					NT	NT	
キイロサナエ					NT		
タバサナエ					NT		
ヒメタイコウチ						VU	
コガムシ				DD			
植物	ヤチスギラン					VU	
	カミガモシダ					NT	
	ヒツジグサ					NT	
	シデコブシ				NT	VU	
	イワショウブ					NT	
	アギナシ				NT		
	ヒナノシャクジョウ					VU	
	ミカワバイケイソウ				VU	VU	
	ムギラン				NT	NT	
	エビネ				NT	VU	
	ギンラン					NT	
	キンラン				NT	VU	
	ツチアケビ					NT	
	セッコク			希少		CR+EN	
	カキラン					NT	
	エンショウムヨウラン					VU	
	ヨウラクラン					VU	
	コケイラン					NT	
	サギソウ				NT	CR+EN	
	ミズチドリ					VU	
	ユウスゲ					NT	
	ヒメミクリ				VU		
	シラタマホシクサ				VU	VU	
	クロホシクサ				NT	VU	
	ホソイ					NT	
	ケタガネソウ					CR+EN	
	ホソバヒカゲスゲ					VU	

表 1.2-3 (3) 木曽川上流圏域内の貴重種 (植物)

区分	種名	貴重種の選定基準				
		①	②	③	④	⑤
植物	ウマズゲ					VU
	シズイ					VU
	マツカサススキ					VU
	コシンジュガヤ					NT
	ヒメコヌカグサ				NT	NT
	ヒナザサ				NT	NT
	ヌマカゼクサ					VU
	ウンヌケモドキ				NT	VU
	ウンヌケ				VU	CR+EN
	ヘビノボラズ					VU
	カザグルマ				NT	VU
	ミスミソウ				NT	VU
	オトコゼリ					VU
	トウノウネコノメ					CR+EN
	タチモ				NT	CR+EN
	イヌハギ				NT	NT
	マキエハギ					NT
	クサフジ					VU
	カキノハグサ					VU
	ヒナノカンザシ					VU
	サンショウソウ					VU
	クヌギ					DD
	フモトミズナラ					NT
	サクラバハンノキ				NT	NT
	シラヒゲソウ					NT
	ヒメオトギリ					VU
	ミズマツバ				NT	
	ミズユキノシタ					NT
	ハナノキ				VU	VU
	サイコクヌカボ				NT	
	ヤナギヌカボ				NT	VU
	ホソバノウナギツカミ					NT
	ヌカボタデ				VU	NT
	トウカイコモウセンゴケ					NT
	カラタチバナ					NT
	イヌセンブリ				NT	CR+EN
	アイナエ					VU
	スズサイコ				NT	NT
	ホタルカズラ					NT
	ヒトツバタゴ				VU	VU
	シソクサ					NT
	ミズトラノオ				VU	CR+EN
	ミヤマナミキ					CR+EN
	スズメノハコベ				NT	
	ミカワシオガマ			希少	VU	VU
	オオヒキヨモギ				NT	VU
	ムラサキミミカキグサ				NT	
	キキョウ				NT	NT
	オケラ					VU
	ヒダアザミ				VU	
スイラン					NT	
ハンカイソウ					CR+EN	
イブキボウフウ					NT	
オミナエシ					NT	
マツムシソウ					NT	

注1) 参考資料は以下のとおりである。

- ・第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書(両生類・爬虫類) (環境省、2001)
- ・第5回自然環境保全基礎調査 生物多様性調査 動物分布調査報告書(哺乳類) (環境省、2002)
- ・第6回自然環境保全基礎調査 種の多様性調査 哺乳類分布調査報告書 (環境省、2004)
- ・岐阜県鳥類目録(日本野鳥の会岐阜、2016)
- ・県単 河川調査(河川水辺の国勢調査)(中津川 他)業務委託報告書(岐阜県恵那土木事務所、2019)
- ・平成30年度 河委第修全-2号 県単 河川維持修繕業務(全面委託)委託(恵那土木事務所管内(旧中津川市全域)) 千旦林川環境調査(魚類)報告書(株式会社梅田組 株式会社テイコク、2019)
- ・令和元年度 河委第局68-A号 県単 河川局部改良(環境調査)(千旦林川)委託報告書(岐阜県恵那土木事務所、2020)
- ・令和2年度 河委第局70-A号 県単 河川局部改良(千旦林川)環境調査委託業務報告書(岐阜県恵那土木事務所、2021)
- ・河委第河整A号 県単 河川整備計画策定(千旦林川)木曽川上流圏域治水等検討委託(岐阜県恵那土木事務所、2022)

注2) 貴重種の選定基準は以下のとおりである。

- ①: 「文化財保護法」(昭和25年、法律第214号)による天然記念物
特天: 特別天然記念物
- ②: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年、法律第75号)による指定種
国内: 国内希少野生動植物種
- ③: 「岐阜県希少野生生物保護条例」(平成15年3月19日条例第22号)による指定希少野生生物
- ④: 「環境省レッドリスト2025の公表について」(令和7年3月18日、環境省報道発表資料)の掲載種(植物)
「環境省レッドリスト2020の公表について」(令和2年3月27日、環境省報道発表資料)の掲載種(植物以外)
CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足
- ⑤: 「岐阜県の絶滅のおそれのある野生生物(動物編)改訂版-岐阜県レッドデータブック(動物編)改訂版-」(岐阜県、平成22年8月)
CR+EN: 絶滅危惧Ⅰ類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

(2) 水質について

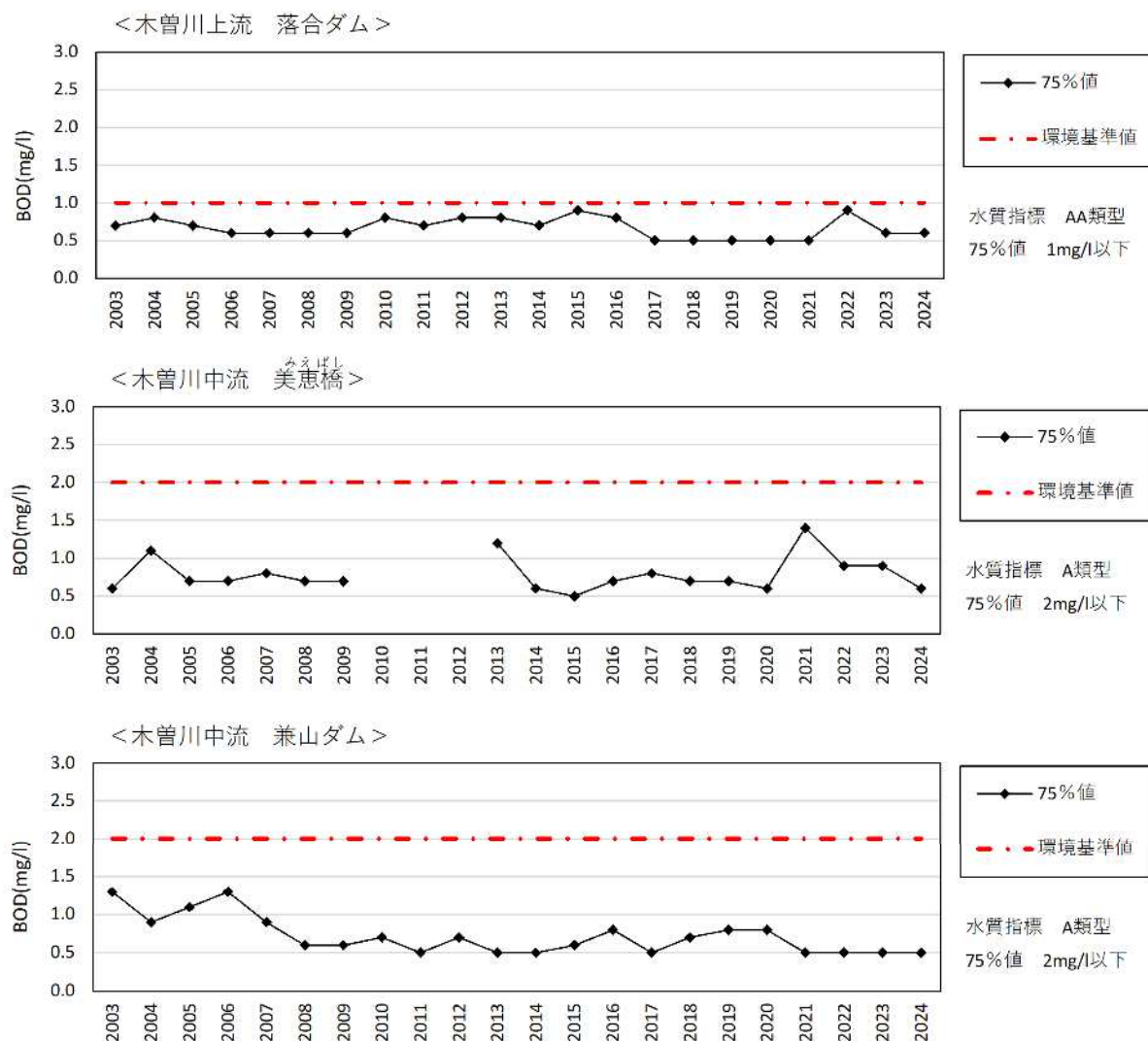
木曾川本川の水質は、昭和 30 年代後半以降に一度悪化したが、その後下水道の整備、排水規制の強化等が図られた結果、徐々に回復し、現在に至っている。

圏域の水質監視にあたっては、汚濁の総合的評価が可能であり、環境基準との整合性、観測の容易さ、長期的なデータの蓄積といった利点を有する BOD を観測対象としている。

圏域内における環境基準の水域類型指定は、木曾川本川の上流で AA 類型、木曾川本川の中流、落合川、付知川、川上川等で A 類型、阿木川下流、中津川下流で C 類型となっている。

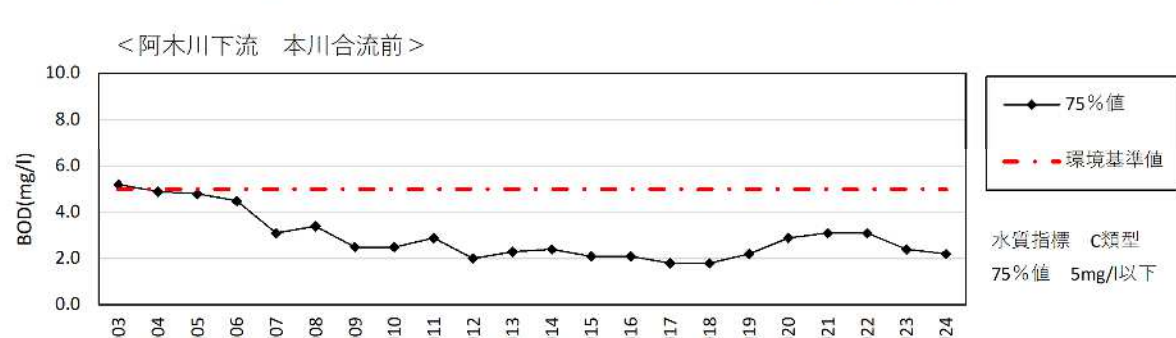
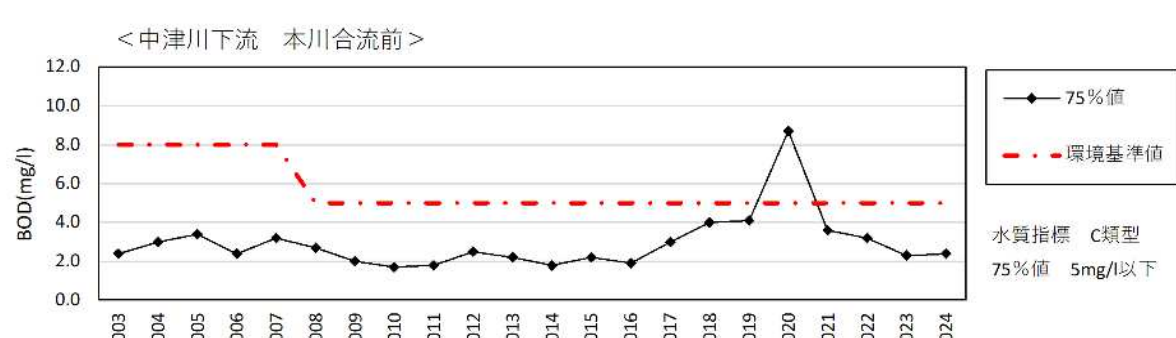
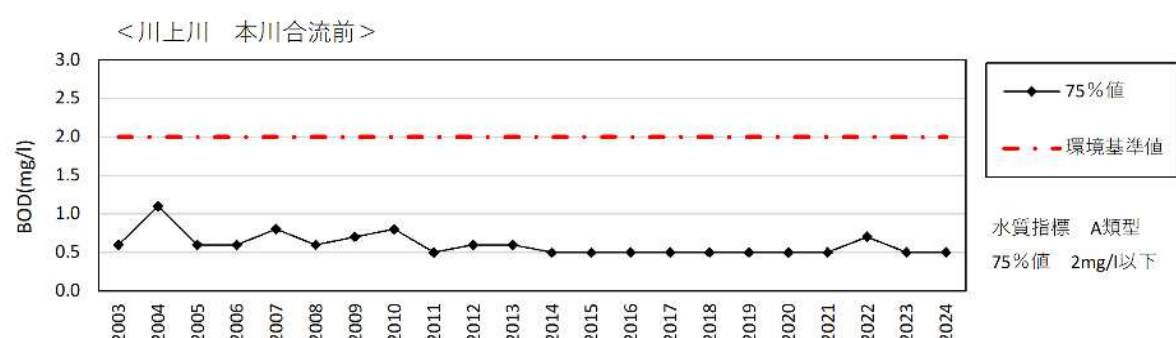
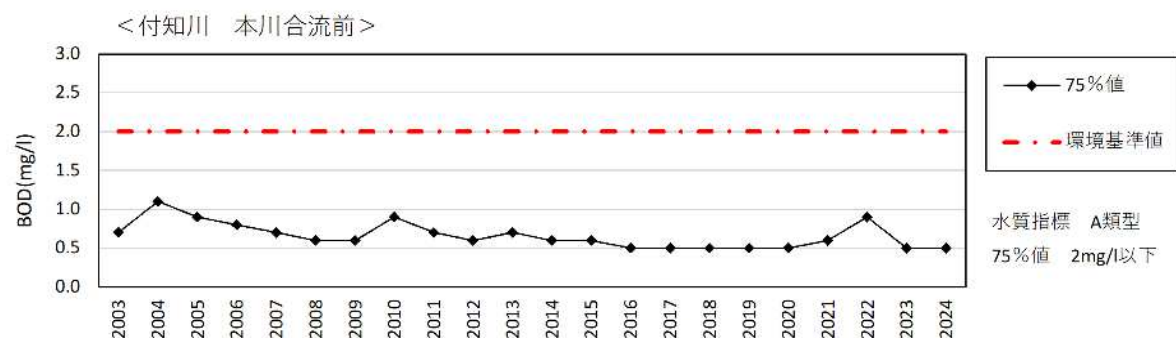
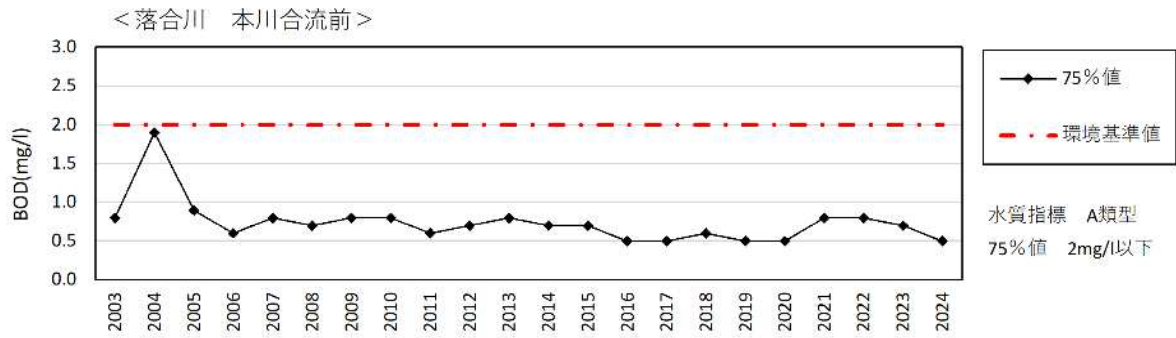
以下に、「公共用水域の水質調査結果総括表」における水質調査結果を示す。木曾川本川及び支川については、環境基準値をやや上回る年度があるものの、直近 4 年間では全地点で良好な状況となっている。

近年の木曾川本川の観測結果を図 1.2-1 に、主な支川の観測結果を図 1.2-2 に示す。



【出典：公共用水域水質調査総括表】

図 1.2-1 木曾川の水質調査結果



【出典：公共用水域水質調査総括表】

図 1.2-2 支川の水質調査結果

(3) 自然景観・文化財・観光資源の概要

木曾川本川は溪谷の様相を呈しており、恵那峡県立自然公園等の特色ある溪谷美や豊かな水面環境によって、観光に大きな役割を果たしている。

また、圏域内の文化財としては、国指定の史跡や天然記念物が複数存在するほか、縄文時代の遺跡や鎌倉時代から室町時代の窯跡が多く見られる。

表 1.2-4 に自然公園の概要、表 1.2-5 に国指定文化財、図 1.2-3 にこれらの位置図を示す。

一方、圏域内の河川では、河川の持つ豊かな自然環境から散策、自然観察、釣り等の多様な利用が行われ、所によっては河川に係わる祭り等も催されている。しかし、人々に安らぎと潤いを与える豊かな自然環境としての河川空間や水辺環境等が地域住民に望まれている反面、ゴミの投棄など自然環境の悪化が問題となっている。

表 1.2-4 圏域関連の自然公園概要

区分	公園名	所在地	面積 (ha)	特別地域 (ha)	普通地域 (ha)	指定年月日
国定公園	ひだきそがわ 飛驒木曾川	みずなみ えな (岐阜・愛知)瑞浪市・恵那 みのかも かかみがはら 市・美濃加茂市・各務原市・ かに げる さかほぎ か 可児市・下呂市・坂祝町・川 わべ ひちそう やおつ しら 辺町・七宗町・八百津町・白 かわ みたけ 川町・御嵩町	(18,074) 14,413ha	13,659ha	754ha	S39年3月3日 H1年6月7日
県立自然 公園	えなきよう 恵那峡	なかつがわ えな 中津川市・恵那市	1,505ha	319ha	1,186ha	S29年9月14日
	えなさん 胞山	なかつがわ えな 中津川市・恵那市	5,027ha	455ha	4,572ha	S29年9月14日 S35年8月30日 H16年3月18日
	うらきそ 裏木曾	なかつがわ 中津川市	11,654ha	456ha	11,198ha	S38年1月22日 H16年9月16日

表 1.2-5 圏域の国指定文化財

市町	種類	名称	市町	種類	名称
中津川市	工芸品	たち めい びぜんのかにおさふねのじゅうちかけ 太刀 銘 備前国長船住近景	恵那市	天然記念物	じせいち ヒトツバタゴ自生地
	工芸品	たち めい よしのり 太刀 銘 吉則		史跡	しょうげはいじあと 正家廃寺跡
	彫刻	もくぞうやくしによらいざぞう 木造薬師如来坐像		建造物	たけなみじんじやほんでん 武並神社本殿
	史跡	な えぎじょうせき 苗木城跡		天然記念物	かさいわ 傘岩
	史跡	なかせんどう 中山道		天然記念物	とみだ じせいち 富田ハナノキ自生地
	天然記念物	さかもと じせいち 坂本のハナノキ自生地	八百津町	建造物	めいきょうじかんのんどう 明鏡寺観音堂
	天然記念物	か し も 加子母のスギ		建造物	きゅうやおつはつでんしょせつ 旧八百津発電所施設
	天然記念物	たるぼら 垂洞のシダレモミ	可児市	史跡	ながつか こふん 長塚古墳
天然記念物	じせいち ヒトツバタゴ自生地	史跡		み のかねやまじょうあと 美濃金山城跡	

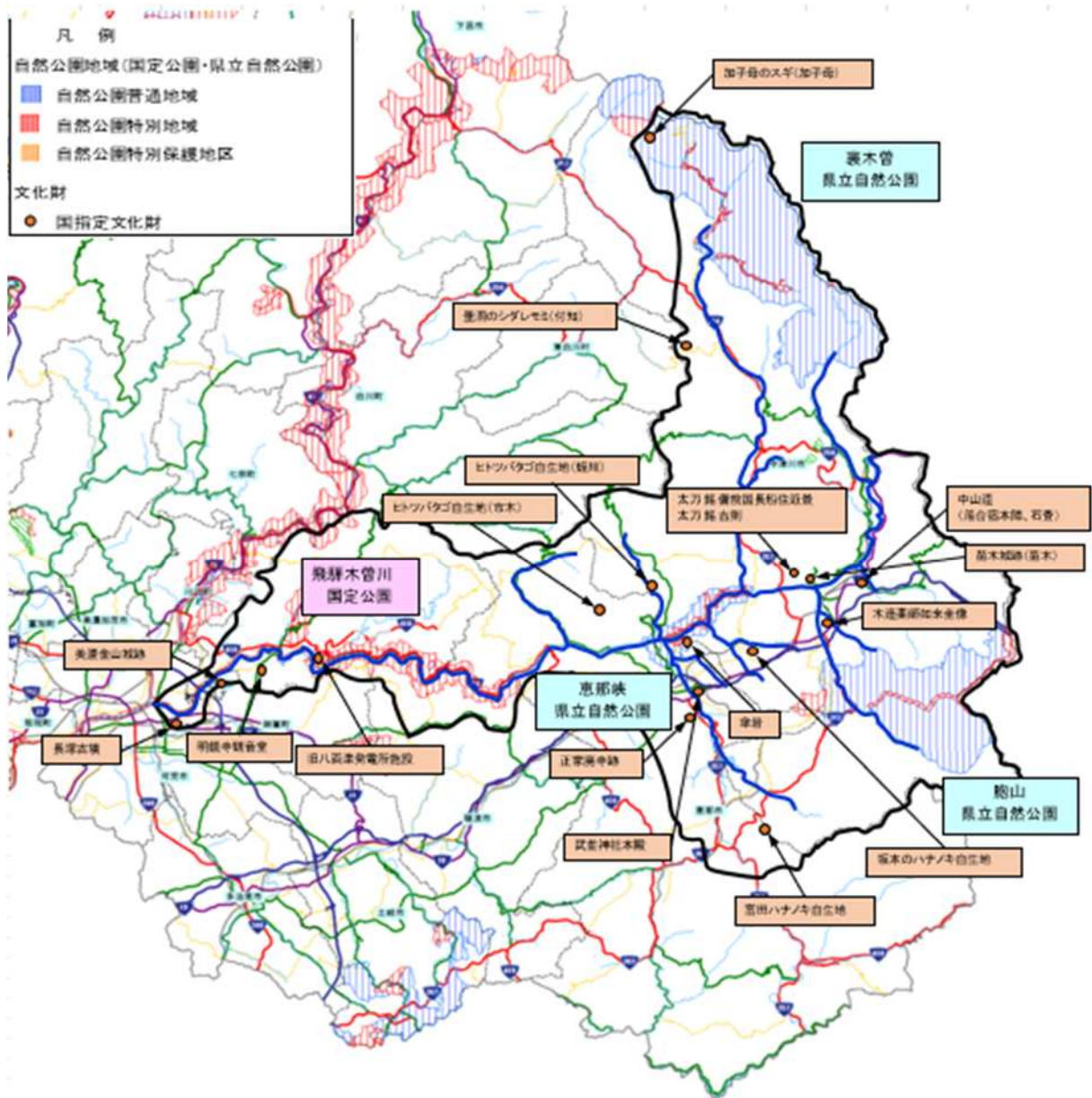


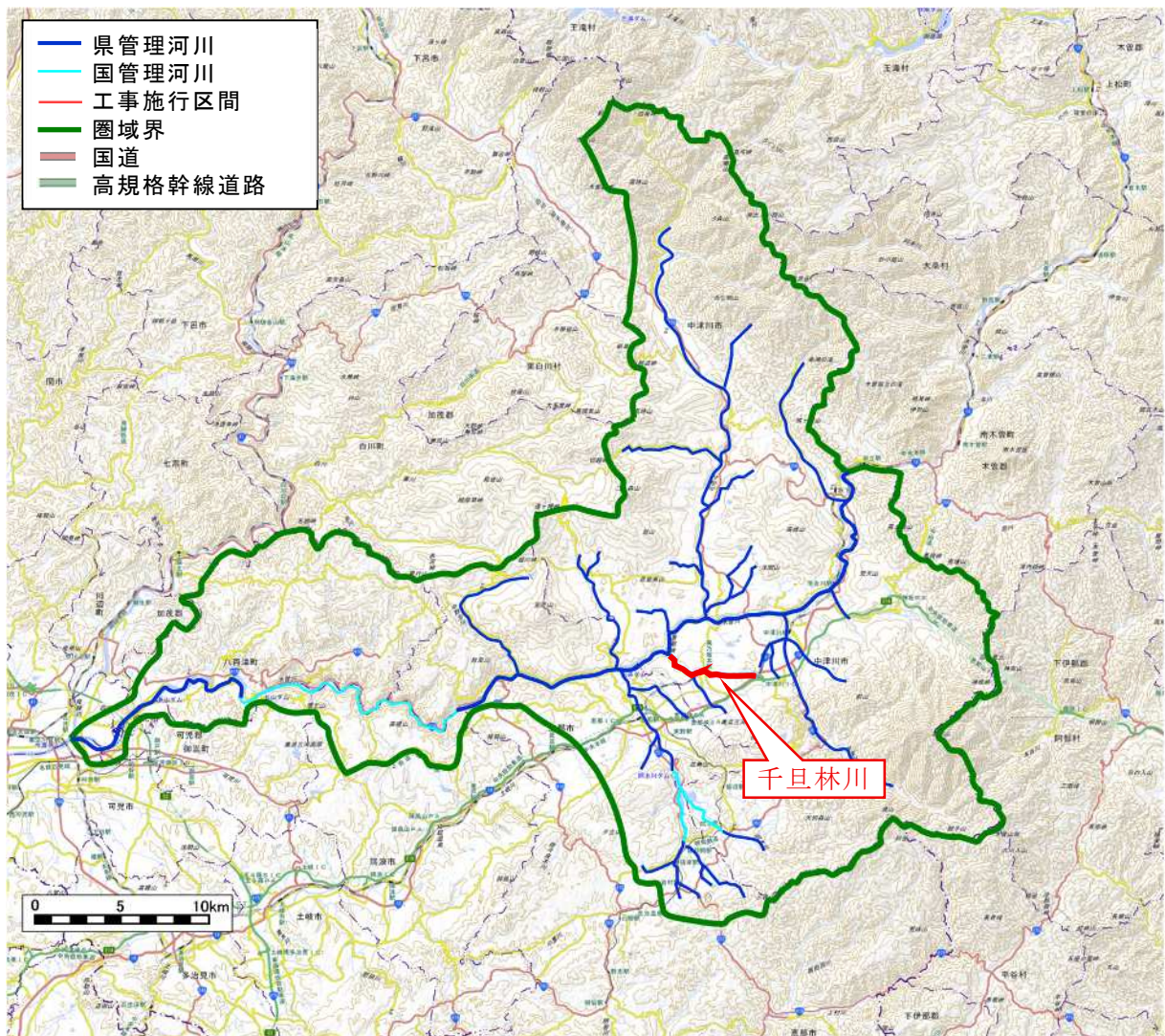
図 1.2-3 圏域の自然公園及び国指定文化財
 (出典：国土交通省 HP 国土数値情報 自然公園地域データ)

1.3 河川整備に関する住民意見

河川整備計画への住民意見の反映のため、木曾川上流圏域では、平成12年度に策定された木曾川上流圏域河川整備計画策定時に住民アンケート調査や地元懇談会を実施した。

また、特に千旦林川に関する河川改修の要望や関心が高いことから、令和元年より地域の有識者や住民代表から構成される「千旦林川の改修に伴う意見交換会」、「木曾川上流圏域 地域検討会」を開催し、関係住民の意見を聴取した。

住民意見聴取の活動状況を表1.3-1に示し、木曾川上流圏域 地域検討会等において得られた地域住民の意見と対応方針を表1.3-2に示す。



【出典（背景図）：国土地理院】

図 1.3-1 木曾川上流圏域内における千旦林川位置図

表 1.3-1 圏域に係る住民・学識経験者からの意見聴取の活動状況

会議の名称	開催日	会議内容
第 2 回岐阜県河川整備計画 検討委員会	H12. 5. 29	木曾川上流圏域の現状と課題の説明、意見聴取
第 3 回岐阜県河川整備計画 検討委員会	H12. 10. 12	河川整備計画（原案）の説明、意見聴取
第 1 回千旦林川の改修に伴 う意見交換会	R 元. 8. 21	千旦林川の事業概要の説明、質疑応答
第 2 回千旦林川の改修に伴 う意見交換会	R 元. 10. 8	千旦林川の現況及び将来理想像の意見集約、治 水、利水、環境に対する意見集約
第 3 回千旦林川の改修に伴 う意見交換会	R 元. 11. 16	千旦林川の現地確認、改修の優先順位整理
第 4 回千旦林川の改修に伴 う意見交換会	R2. 2. 17	住民の意見を取り入れた千旦林川の改修計画案 の説明、意見交換
木曾川上流圏域 地域検討会 （千旦林川）	R4. 7. 4	木曾川上流圏域河川整備計画の変更についての 説明、意見聴取
第 19 回岐阜県河川整備計画 検討委員会	R7. 12. 22	河川整備計画（原案（案））の説明、意見聴取

表 1.3-2 地域住民の意見と対応方針

河川名	地域住民の意見	対応方針	
千 旦 林 川	治 水	未改修区間については早期に着手してほしい。	本整備計画区間の工事は早期に着手する。
		住民の意見を反映しながら工事を実施してほしい。	地域検討会等において地元住民の意見聴取を行う。
		蛇行区間を直線化することになるため水勢の増加や旧河道が洗堀される等の危険はないか。	直線化する区間は落差工を設けて現況の河床勾配を維持する。 旧河道の埋立地については、洗堀が生じないように土地区画整理事業と連携して地盤改良等の対策を検討する。
		改修箇所周辺は通学路や生活道路となっているため工事の際は配慮してほしい。	工事関係者で調整して地元住民の負担とならないように最大限配慮して工事を行う。
		土砂が堆積して河積が減少している区間があるため対策してほしい。	洪水の流下を阻害するほどの土砂堆積とならないように維持管理に努める。
		千旦林川に流れ込む支川について、土砂が堆積しており一部の区間は河道が狭いため対策してほしい。	関係機関と連携を図りながら対応していきたい。
		流域の山林が荒廃しており、森林の水源涵養機能の低下や土石流の発生頻度増加が懸念されるため対策してほしい。	
	利 水	上流部の開発に伴う急な増水に対して、河川利用に関する利便性と安全性は損なわないように配慮すること。	関係機関や水利権者と連携を図りながら対応していきたい。
		既存の取水施設へ影響がないようにすること。	
	環 境	水質改善、河川美化に対する取り組みを具体的に示してほしい。	定期的な河川巡視の他、地域住民と協力体制を構築して河川美化に努める。
		水辺へアプローチできる親水広場や遊歩道を設置してほしい。	管理用通路を散策路とし、「水辺のふれ合いゾーン」として水辺に近づく階段と水辺の歩行空間を設ける。また、右岸側に植樹スペースを設ける。
		区画整理や駅前の開発計画に配慮し、事業対象区間外を含めた千旦林川の魅力化を進めてほしい。	植樹スペースは河川の側とし、区画整理敷地は管理用通路を隣接させて開発計画に配慮する。植樹スペースにはベンチや案内板を設置して沿川の親水空間を確保する。
		草刈りの負担を軽くしてほしい。	緩勾配の芝斜面を部分的に設け、草刈りの負担を軽くする。
		改修後も多様な動植物が生息できる川としてほしい。	落差工や寄せ石の設置等を検討し、多様な川の流れと生き物の住処を創出できるようにする。

2. 河川整備の目標に関する事項

2.1 計画対象区間及び計画対象期間

整備計画対象区間は、河川環境が流域社会と密接な関わりがあり、治水、利水の計画と整合を図りながら一元的に管理する必要があることから、今渡ダムより上流の岐阜県内の木曾川流域内の一級河川指定区間を対象区間とする。

計画対象期間は概ね30年程度とする。

表 2.1-1 計画対象区間

番号	河川名	区間		河川延長 (m)	指定年月日 告示番号
		始点	終点		
1	沢尻川	恵那市飯地町字沖田537番地先 同市同町字同535番の2地先	木曾川合流点に至る	4,100	S40.3.24 政令第43号
2	中野方川	恵那市中野方町字伐跡4367番24地先 同市同町字釜場4357番16地先	木曾川合流点に至る	10,544	S40.3.24政令第43号 変更H2.6.8第1167号
3	力石川	恵那市中野方町字釜場4357番の1の1地先	中野方川合流点に至る	1,100	S40.3.24 政令第43号
4	千田川	恵那市長島町大字中野1230番地先 同市同町大字同1193番の2地先	木曾川合流点に至る	3,200	同上
5	和田川	中津川市蛭川字和田77番の9地先 同市同町字同99番地先	木曾川合流点に至る	9,000	同上
6	柏ヶ根川	中津川市蛭川字細野1472番の2地先 同市同町字同1498番地先	和田川合流点に至る	3,927	同上
7	阿木川	中津川市大字阿木字下河原5568番地先 同市大字同字下大根地先	木曾川合流点に至る	16,920	同上
8	濁川	恵那市東野大字日坂1896番の8地先 同市大井町字生屋2205番地先	阿木川合流点に至る	4,000	同上
9	横町川	恵那市大井町字舟山1120番の2地先 同市同町字同1120番の1地先	阿木川合流点に至る	1,700	同上
10	永田川	恵那市三郷町野井字流田1328番の1の1の2地先の市道橋下流端	阿木川合流点に至る	5,218	S40.3.24政令第43号 変更S48.4.12第820号
11	田達川	恵那市長島町大字中野字檜ヶ根1251番地先 同市同町大字同字同1269番の1の2地先	永田川合流点に至る	2,500	S40.3.24 政令第43号
12	定運寺川	恵那市東野字地蔵平2906番地先 同市同字上平2406番地先	阿木川合流点に至る	1,500	同上
13	飯沼川	中津川市阿木6915番地先 同市同町7383番の2地先	阿木川合流点に至る	9,438	同上
14	岩村川	恵那市岩村町字大路19番の4地先 同市同町字同12番地先	阿木川合流点に至る	8,400	同上
15	湯壺川	恵那市長島町正家中野永田字鍋山1番の46地先 同市岩村町飯沼間字小沢山3688番の126地先	岩村川合流点に至る	1,430	H7.4.3 第946号
16	富田川	恵那市岩村町岩村国有林99林班ろ小班地先 同市同町富田字鈴ヶ根5番3地先	岩村川合流点に至る	5,458	S40.3.24政令第43号 変更S48.4.12第820号 S61.4.5第962号
17	吉田川	恵那市岩村町富田字水島山1番の91地先 同市同町同字姥ヶ洞342番の6地先	富田川合流点に至る	2,400	S40.3.24 政令第43号
18	飯沼間川	恵那市岩村町飯沼間字大見洞76番の1地先 同市同町同字飯塚76番の2地先	岩村川合流点に至る	3,300	同上
19	一色川	恵那市岩村町大根洞1794番地先 同市同町字喜松482番の12地先	岩村川合流点に至る	2,200	同上
20	野田川	中津川市阿木字平岩2653番の2地先 同市同町同字同2658番の8地先	阿木川合流点に至る	1,100	H7.4.3 第946号
21	久須田川	中津川市阿木4985番の2地先 同市同町4013番の5地先	阿木川合流点に至る	1,850	S40.3.24 政令第43号
22	寺川	中津川市阿木6458番の1地先 同市同町2197番の1地先	阿木川合流点に至る	2,840	同上
23	千旦林川	中津川市千旦林52番の5地先 同市同町31番の4地先	木曾川合流点に至る	6,020	同上
24	坂本川	中津川市荻子川字中垣外1683番の1007地先の市道橋下流端	千旦林川合流点に至る	3,600	S54.4.4 第789号 S55.4.5 第822号
25	一之瀬川	中津川市蛭川字内理4843番の2地先の県道橋	木曾川合流点に至る	4,700	同上
26	付知川	中津川市付知町字猪谷5279番の2地先 同市同町字同5272番の1地先	木曾川合流点に至る	27,546	S40.3.24 政令第43号
27	狩宿川	中津川市大字留木字井汲645番の3地先 同市大字同字同644番の1地先	付知川合流点に至る	5,300	同上
28	妻鴉川	中津川市大字留木字沼2219番の6地先 同市大字同字同2219番の1地先	狩宿川合流点に至る	3,000	同上
29	木積沢川	中津川市高山字木積沢1971番43地先 同市同町同1908番11地先	付知川合流点に至る	2,500	S57.4.6 第1003号
30	松島川	中津川市福岡字小池540番地先 同市同町同539番の1地先	付知川合流点に至る	2,700	S40.3.24 政令第43号
31	長根川	中津川市下野字黒沢806番地先 同市同町同837番の1地先	付知川合流点に至る	3,500	同上
32	柏原川	中津川市福岡字新田2986番の1の1地先 同市同町同3094番の2地先	付知川合流点に至る	5,000	同上
33	横川	中津川市田瀬字三倉1508番の1地先 同市付知町字日括3047番の118地先	付知川合流点に至る	3,700	同上
34	山の田川	中津川市瀬戸字上滝1690番地先の市道橋	木曾川合流点に至る	3,550	S56.4.3 第871号
35	中津川	中津川市阿木字丸山7986番1地先 同市中津川4062番1地先	木曾川合流点に至る	13,963	S40.3.24政令第43号 変更S60.4.6第758号
36	四ツ目川	中津川市大字中津川字恵下2497番地先 同市大字同字久後2447番の24地先	中津川合流点に至る	2,618	S40.3.24 政令第43号
37	後田川	中津川市駒場字後洞1438番地先の市道橋下流端	中津川合流点に至る	2,600	S48.4.12 第870号
38	前川	中津川市手賀野字会所沢148番の4地先の市道橋下流端	後田川合流点に至る	2,180	同上
39	落合川	中津川市大字落合字横邊1375番の1地先	木曾川合流点に至る	3,655	S40.3.24 政令第43号
40	湯舟沢川	中津川市馬籠字霧ヶ原3834番地先 同市同字三坂北方3834番地先	落合川合流点に至る	5,668	同上
41	島田川	中津川市馬籠字梨子ノ木平402の68番地先の県道下流端	湯舟沢川合流点に至る	2,824	S52.4.184第729号 S53.4.5第797号
42	牧沢川	中津川市馬籠字塩野1675番地先 同市同町同1672番地先	島田川合流点に至る	1,801	同上
43	外洞川	中津川市坂下字上外4140番の2地先 同市同町同4137番の1地先	木曾川合流点に至る	5,000	S40.3.24 政令第43号
44	川上川	中津川市川上字丸野1058番の2地先 同市同町同1051番の1地先	木曾川合流点に至る	9,927	同上

2.2 河川整備計画の目標

2.2.1 洪水による災害の防止または軽減に関する事項

今渡ダムより上流の岐阜県内の木曾川流域内の一級河川指定区間のうち、特に今回の改訂で重点的に改修を行う千旦林川（未竣工区間に加え、坂本川合流点上流から三津屋、千旦林跨線橋上流）は、年超過確率 1/20 の規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

2.2.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項

近年において、千旦林川では渇水被害等は起こっておらず、多数の農業用水をはじめ、水道用水、工業用水等の既得水利権が設定されており、沿川の農地の灌漑などに利用されている。

本整備計画では、圏域内の各河川において河川の適正な利用及び流水の正常な機能を維持するため、これらの取水実態や流況等を把握し、関係機関や圏域内の住民と連携して、水利用秩序に配慮しつつ、水利用の適正化に努める。渇水時においては情報収集を行い、取水関係機関へ情報提供を行うとともに、取水関係機関と協議し水利用の調整に努める。

また、流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、動植物の生息・生育環境や河川景観等の観点から、河川の状況及び水利用実態の把握に努め、関係機関と調整等を行い検討していく。

2.2.3 河川環境の整備と保全に関する事項

現在の河川が有している豊かな河川環境を維持すべく、現況河道の改変を最小限に抑えるとともに、瀬・淵・中州ならびに高水敷に展開する貴重な自然環境の保全に努める。やむを得ず大きく改変する場合には、改変の影響を緩和させるため、河川改修の実施に先立ち、動植物の生息、生育、繁殖環境の調査を実施する。

そのため、河川改修の実施に先立ち、必要に応じて環境調査を実施する。その結果を踏まえ、落差工や寄せ石の設置を検討するなど、生物の生息生育環境の保全や再生に努める。

河川の水質については、関係機関や地域住民等の協力の下、保全や維持等に努める。

さらに、県民に根付いた河川環境を守る意識をもとに、森林・農地等を守り、活用して、明日につなげていく社会を作り上げていくため、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの考え方を踏まえ、魚道の機能回復・改善、水生生物などの生態系に配慮した川づくりなど自然と共生した川づくりを実施し、河川環境の保全・創出に努める。さらに、自然環境の損失を食い止め、回復させていくネイチャーポジティブの考え方を取り入れ、持続可能で豊かな河川環境の実現を目指す。

今渡ダムより上流の岐阜県内の木曾川流域内の一級河川指定区間のうち、特に今回の改訂で重点的に改修を行う千旦林川（未竣工区間に加え、坂本川合流点上流から三津屋、千旦林跨線橋上流）については、中津川市かわまちづくり計画と一体となり、恵那山^{えなさん}の眺望を活かし、河川沿いに回遊できる空間を整備する。豊かな河川環境を維持すべく、河川整備を段階的に行うことで、魚類等が整備区間外に避難できるように工事を実施する。また、瀬・淵・中州を保全・創出し、護岸整備等に関しては環境に配慮した工法を選定する。

圏域内河川の河川環境に関わる状況については、今後も調査を継続し、木曾川上流圏域の自然や歴史、風土にふさわしい河川整備を行うために、地域住民等の意見を踏まえながら、さらに検討を進めていく。

3. 河川整備の実施に関する事項

3.1 河川工事の目的、種類及び施行の場所

3.1.1 河川工事の目的及び施行の場所

千旦林川（未竣工区間に加え、坂本川合流点上流から三津屋、千旦林跨線橋上流）は、年超過確率 1/20 の規模の洪水を安全に流下させることができるよう、工事を施行する。工事の施行にあたっては、中津川市かわまちづくり事業と連携し、土地区画整理事業と一体となった空間を整備する。流量配分を図 3.1-1 に示す。

工事施行区間と施行内容を表 3.1-1 に示す。

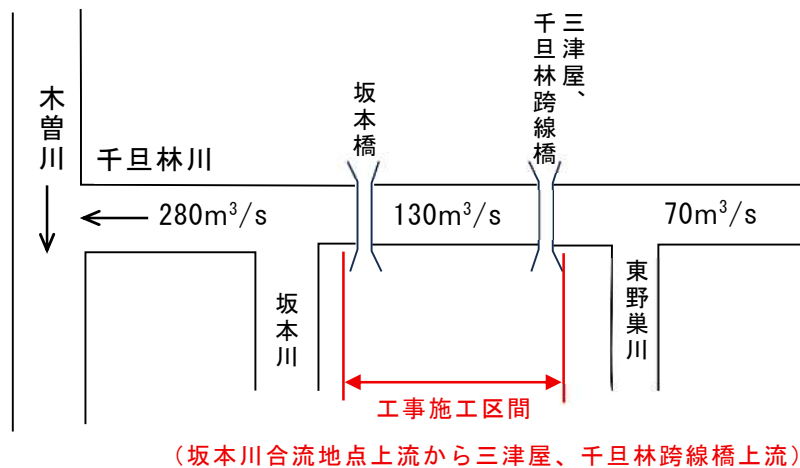


図 3.1-1 千旦林川（未竣工区間に加え、坂本川合流点上流から三津屋、千旦林跨線橋上流）流量配分図

表 3.1-1 工事施行区間及び施工内容

河川名	施行区間		区間延長	主な施行内容
	起点	終点		
千旦林川	中津川市千旦林	同左	1,630m	河道掘削、築堤、護岸工等

3.1.2 河川工事の種類

(1) 河川改修

千旦林川の河川改修にあたっては、中津川市かわまちづくり事業と連携し、河川沿いを回遊できる空間を駅周辺の土地区画整理事業と一体となって整備することで、地域住民の生活環境を創出しつつ、想定規模の洪水から浸水被害を防止するため、河道掘削、築堤、護岸工等により流下能力の増大を図ることができるよう工事を施行する。

河川環境についての把握を行うとともに、関係機関、有識者及び地域住民の意見を聞き、河川環境の保全や再生に努める。

(2) 河川堤防等の強化

洪水等による侵食から堤防や河岸を保護するため、水衝部等の局所洗掘等が発生している箇所については、護岸の整備等を実施する。

また、堤防整備に伴い改修が必要になる樋門・樋管等については、施設管理者と連携・調整し改築を行う。

(3) 河川構造物の長寿命化

堤防や樋門・樋管、陸閘等の河川構造物について、所要の機能が保全されるよう、定期的な点検を行い、その点検結果を踏まえ、計画的に整備・更新等を行い、長寿命化を推進する。

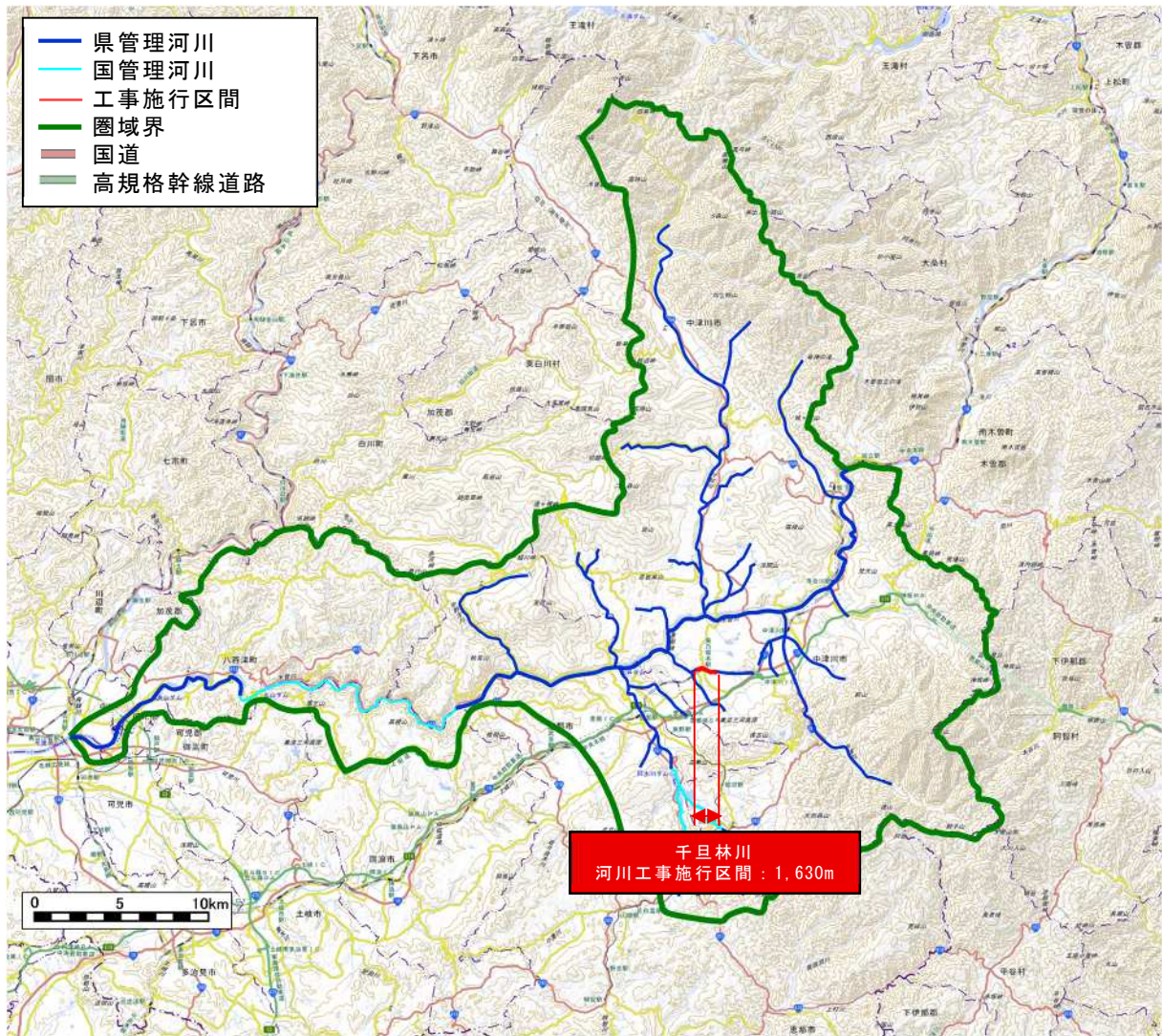
(4) 魚道の機能確保

河川の連続性の確保を図り、魚類が棲みやすい環境を創出するため、圏域内に設置されている魚道について、「魚道カルテ」を用い定期的な点検を行い、点検の結果、魚類等の遡上・降下環境に支障のある場合には、魚道の改善・改修を行う。

3.1.3 河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

(1) 河川改修

圏域全体の河川工事の施行区間を図 3.1-2 に、千旦林川の施行区間及び河川整備のイメージ図を図 3.1-3～図 3.1-5 に示す。



【出典（背景図）：国土地理院】

図 3.1-2 工事施工区間概要図（全体）



【出典（背景図）：国土地理院】

図 3.1-3 千旦林川（坂本川上流点から三津屋、千旦林跨線橋上流）
河川工事施行区間概要図

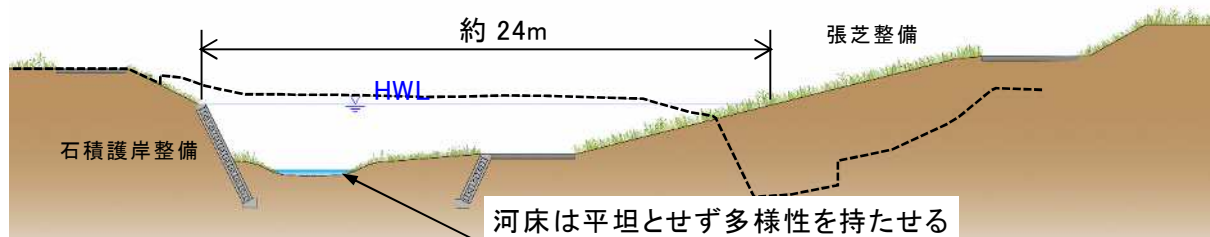


図 3.1-4(1) 代表横断面図（千旦林川 3.2k 付近）

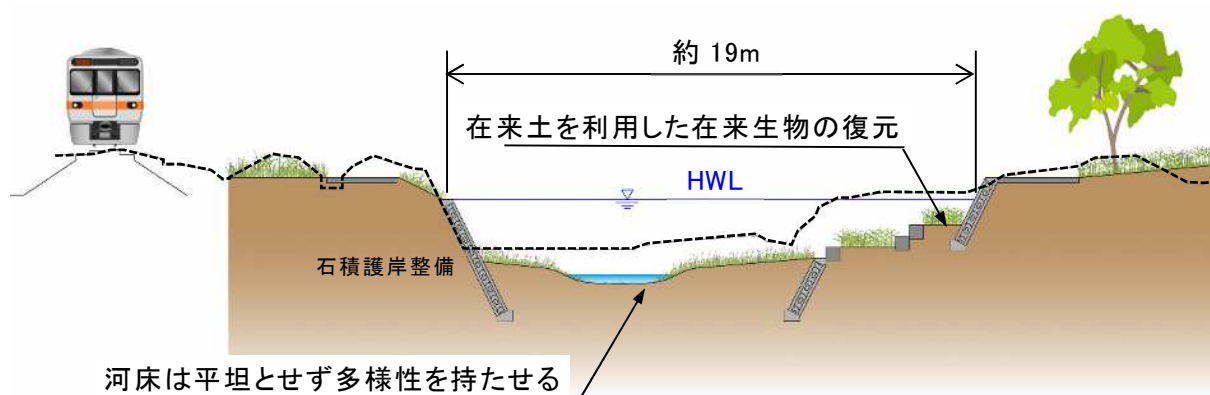


図 3.1-4(2) 代表横断面図（千旦林川 3.8k 付近）
※断面形状は必要に応じて変更することがある。

3.2 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

3.2.1 河川の維持の目的

今渡ダムより上流の木曾川流域内の一級河川指定区間（岐阜県内）において、洪水による被害の防止、河川の適正な利用、流水の正常な機能の維持および良好な河川環境の整備と保全の観点から、圏域内のすべての河川について策定する河川維持管理計画に基づき、各河川の特性を踏まえた河川の維持管理を関係機関や地域住民等と連携を図りながら適切に行うものとする。

また動植物の生息・生育環境を保全しながら、自然と親しむことができる河川空間を維持していくとともに、その利用を促進していく。

さらに、樋門等の河川構造物については、施設の老朽化が進む中で、常に健全な機能が確保されるよう維持する必要がある、これまでの対症療法型の維持管理から予防保全型の維持管理に転換し、長寿命化計画に基づく管理を実施して施設の信頼性を確保しつつ、効率的・効果的な維持管理を実現するため、長寿命化を推進して更新需要の平準化、コストの抑制に努める。

3.2.2 河川の維持の種類及び施行の場所

(1) 堤防及び護岸等の維持管理

各河川の堤防、護岸等については、定期的な点検や出水後及び地震後の河川巡視・点検を実施し、護岸、堤防等の法崩れ、亀裂及び陥没等の有無や、機能低下について主として目視により確認する。異常が確認された場合には、総合的に勘案した補修対策を緊急的に講じるものとする。

(2) 河道の維持管理

河道については、巡視や定点観測等により土砂堆積や樹木繁茂などの状態把握に努め、治水上支障のある土砂堆積、樹木繁茂については、河道流下断面を確保するため、環境に配慮しつつ除去等を実施する。

また、出水後に河道内に堆積するゴミ・草木、不法投棄されたゴミ等の処理については、地域住民や自治体等の関係機関と連携し、速やかな撤去処分に努める。

(3) ダム、貯水池の維持管理

ダム施設等を常に良好に保つため、必要な計測・点検等を実施し、その機能の維持に努める。

(4) 樋門・樋管・陸閘の維持管理

樋門・樋管・陸閘については、堤防としての機能、逆流防止機能等の所要の機能が保全されるよう、定期的な点検等を行い、この点検結果を踏まえ、計画的に整備・更新等を行い、長寿命化を推進する。

(5) 魚道の維持管理

魚道の適切な維持管理に努める。具体的には、「魚道カルテ」を用い定期的な点検を行い、点検の結果、魚類等の遡上・降下環境に支障のある場合には、土砂撤去や補修・改修などを行い機能の改善を図る。

(6) 許可工作物の維持管理

許可工作物については、河川法及び許可条件に基づき適正に維持管理されるよう、施設管理者へ適正な指導、協議、助言を行う。

(7) 流域治水対策の推進

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化を踏まえ、堤防の整備等の対策をより一層加速化するとともに、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策に取り組む「流域治水」を推進する。

流域治水では、「岐阜県 新五流域総合治水対策プラン」を参考に河川区域のみならず、集水域や氾濫域も含めて、①「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」、②「被害対象を減少させるための対策」、③「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」を柱に地域の特性に応じ、様々な手法を適切に組み合わせた取組を実施する。

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす（河川区域での対策）】

○洪水の防止（河川改修）

- ・河川改修の実施

○ダム事前放流

- ・既存ダムにおける事前放流等の体制構築と実施

○排水施設・ポンプ

- ・県管理の排水ポンプ車の運用
- ・市町管理河川の排水施設の整備、維持管理の実施

○河川構造物の長寿命化・耐震化

- ・岐阜県河川インフラ長寿命化計画に基づく、河川構造物の予防保全型の維持管理の実施
- ・効率的な堤防の耐震化

○河川管理施設の維持管理

- ・河川維持管理計画に基づく、河川管理施設や許可工作物の維持管理の実施

○自然共生川づくり（岐阜県版多自然川づくり）

- ・河道拡幅による生態環境保全と洪水ピーク流量の低減
- ・市町管理河川における自然共生川づくりの検討と実施

○指定河川及び基準水位の設定・見直し

- ・重要水防箇所、水位周知河川及び洪水予報河川の設定内容の見直し

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らす（集水域での対策）】

- 内水の排除
 - ・下水道排水施設の整備、維持管理の実施
 - ・農業排水施設の整備、維持管理の検討と実施
 - ・普通河川や水路における排水施設の整備、維持管理の実施
- 河川への流出抑制、市街地等の浸水防止
 - ・公共施設や民間施設における雨水貯留・浸透施設の設置、指導
 - ・公共施設における雨水貯留浸透施設の整備、維持管理の検討と実施
- 排水区域内の浸水の防止（雨水貯留浸透施設）
 - ・下水道雨水貯留浸透施設の整備、維持管理の検討と実施
- 市街地等の浸水の防止（雨水貯留浸透施設）
 - ・民間施設における雨水貯留浸透施設の整備、維持管理の検討と指導
- 農地等の浸水の防止（ため池の活用、田んぼダム）
 - ・ため池の防災管理の実施と洪水調節機能強化の取組の検討
 - ・田んぼダムの普及啓発活動
- 土砂・洪水氾濫の防止
 - ・土砂・洪水氾濫、流木災害対策の調査、検討の実施
- 流木による被害の防止
 - ・流木災害対策の調査、検討
- 森林の浸透・保水機能の発揮（森林整備・治山対策）
 - ・山林（私有林を含む）の管理、整備の検討と実施
- 農地における浸透能の向上
 - ・耕作地と耕作放棄地の浸透能向上に向けた取組の継続と検討

【被害対象を減少させる（氾濫域での対策）】

- 新たに居住に対し、立地を規制する、居住者の人命を守る
 - ・災害危険区域の検討と指定
- 既存の住居に対し、住まい方を工夫する
 - ・住宅等の防災改修（嵩上げ・ピロティ化等）の支援の検討と実施
- 既存の住居に対し、移転を促す
 - ・既存の住居に対する集団移転や個別移転の検討
- 防災まちづくり
 - ・立地適正化計画に基づき、居住誘導区域の指定、防災指針の策定
 - ・防災に配慮したまちづくりの検討と実施
 - ・土砂災害リスク情報の共有、砂防事業計画とまちづくり計画の連携
 - ・防災まちづくり連携土砂災害対策の検討と実施
 - ・避難路や避難施設の確保、整備の検討と実施
- 浸水被害軽減地区
 - ・浸水被害軽減地区（盛土構造物等）の指定の検討

【被害の軽減、早期復旧・復興（氾濫域での対策）】

○避難の確保（平時）

- ・洪水浸水想定区域図の作成、土砂災害警戒区域の指定によるリスク周知の取組の継続
- ・リスク空白域の浸水区域図やハザードマップの作成と周知
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定、訓練の検討と実施
- ・浸水実績表示板、浸水モニユメントの設置、維持管理

○避難の確保（災害時）

- ・危機管理型水位計や河川監視カメラを活用した河川情報の配信
- ・危機管理型水位計や河川監視カメラの設置と運用
- ・各市町村のホームページ、防災行政無線、メール、SNS、アプリ等で防災情報を発信

○経済影響の軽減

- ・土嚢資材の備蓄等による浸水対策の実施
- ・浸水対策施設の整備、維持管理の検討と実施

○災害復旧（洪水氾濫の防止）

- ・災害復旧時に遊水地等の復旧
- ・災害発生時における遊水地内の迅速な土砂の撤去

○防災リーダー育成

- ・総合学習の実施、講師等の派遣による市町村の支援の実施
- ・防災士等の育成や自主防災組織等の活動、防災教育の支援の実施

○伝統的な浸水対策

- ・伝統的な浸水対策の治水機能評価と活用方法の検討

○浸水に備えた街並み

- ・自助共助公助による浸水に備えたまちづくりの取組の検討と実施

○大規模災害減災協議会

- ・木曾・飛騨川流域新五流総地域委員会開催による関係機関の連携強化の推進

○水防活動

- ・広報活動や水防資器材の提供による水防活動、人材確保の支援の実施

(8) 水質の維持・向上

圏域の河川の水質は、水質基準点で環境基準を概ね達成しているが、水質基準点が設定されていない他河川も含めて、関係機関や地域住民の協力の下その向上に努める。

実施にあたっては、流域住民に水質改善に関する意識を高めてもらうため、住民団体と連携した巡回パトロールや清掃活動など地域における取り組みとも連携させ、良好な水質の維持・向上を目指す。

(9) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

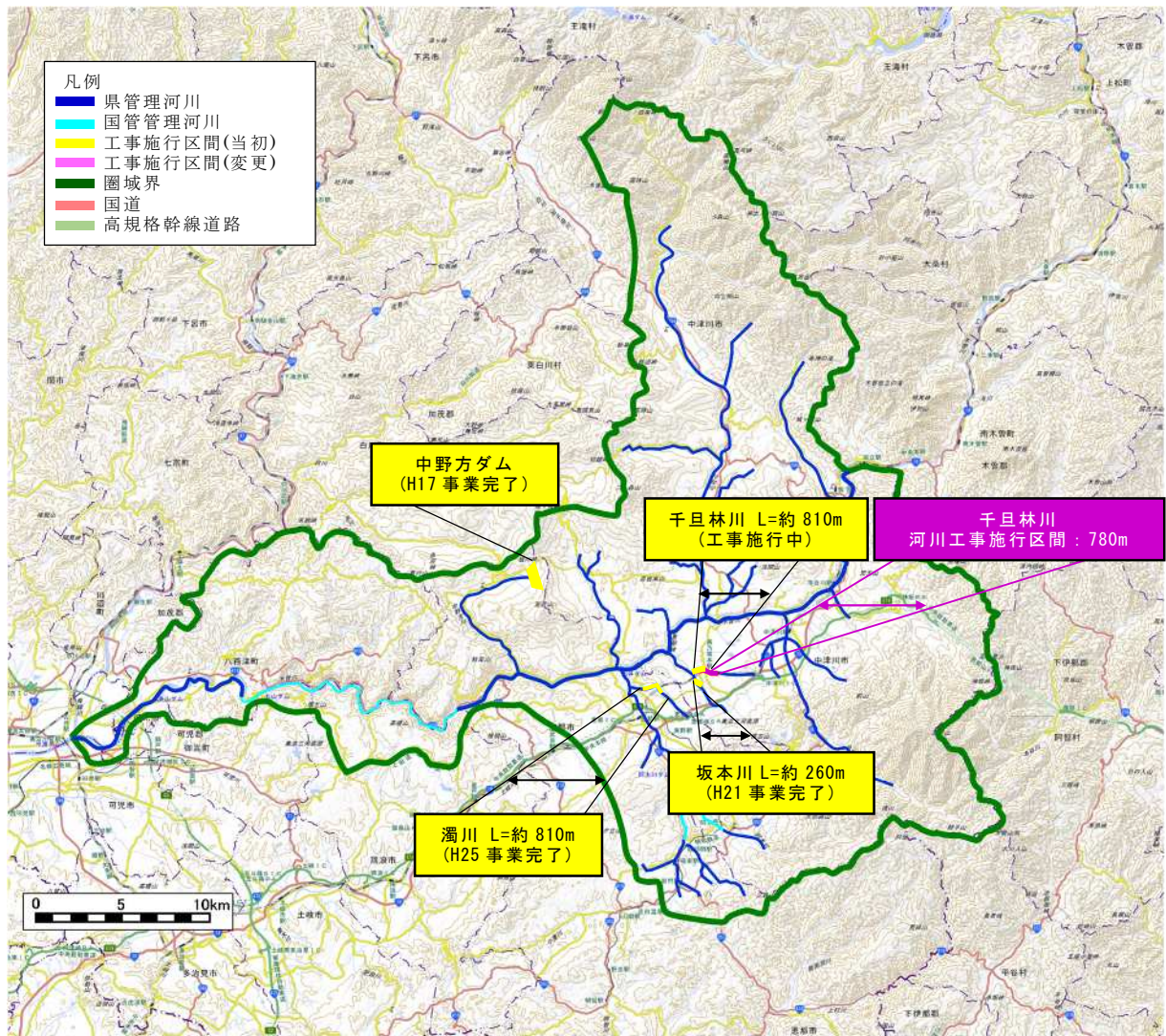
流水の正常な機能の維持にあたっては、渇水時に必要に応じて河川パトロールを実施し、情報収集を行い取水関係機関等への情報提供を行うとともに、河川の適正な利用のため、取水関係機関と協議し水利用の調整に努める。

4. 計画の改定に関する事項

本計画は、現時点における課題や河道状況に基づき策定するものであり、策定後の新たな知見や技術、社会経済情勢の著しい変化、大規模な洪水の発生状況等によって、必要に応じて見直しを行う。

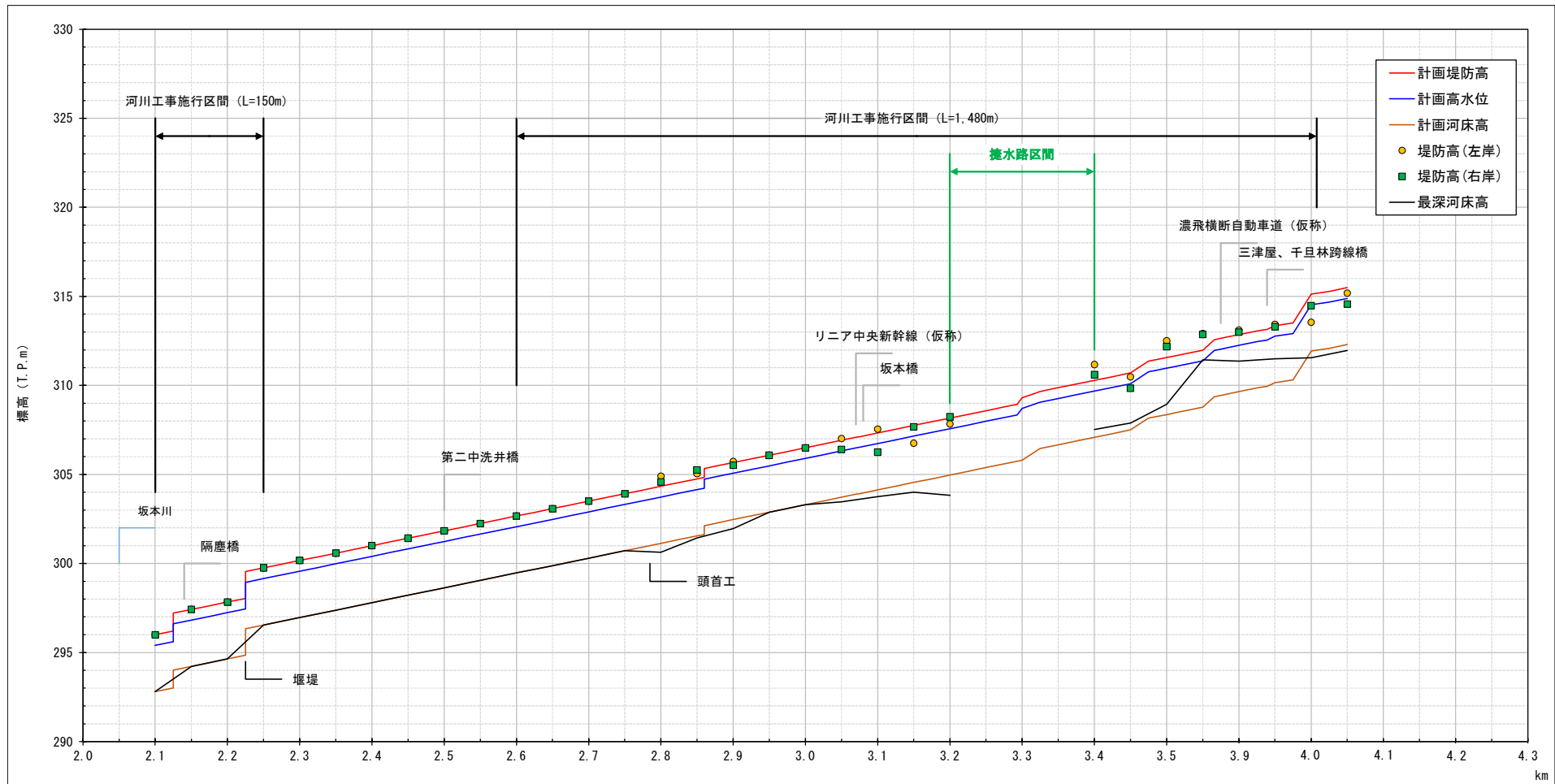
< 附 図 >

千旦林川工事区間の位置図及び縦断図



【出典（背景図）：国土地理院地図に加筆】

木曾川上流圏域と工事施行区間の位置



千旦林川縦断図（未竣工区間に加え、坂本川合流点上流から三津屋、千旦林跨線橋上流）

< 卷末參考資料 >

巻末参考資料

【参考】河川整備計画の策定（平成13年）以降に完了した事業を以下に示す。

【参考】河川改修に関わる施工完了の場所

河川名	施工の場所		概要
濁川	恵那市大井町	0.8k～1.6k 付近	河道掘削など
千旦林川	中津川市茄子川	2.1k～2.3k 付近	河道掘削など
	中津川市千旦林	2.6k～3.1k 付近	河道掘削など
坂本川	中津川市茄子川	2.3k～2.6k 付近	河道掘削など

【参考】洪水調節に関わる施工完了の場所

河川名	施工の場所		概要
中野方川	恵那市中野方町	中野方ダム	ダム建設